



平成 23 年 12 月 27 日

各 位

東京都千代田区神田司町二丁目 12 番地 1
会 社 名 アース製薬株式会社
代 表 者 代表取締役社長 大塚達也
(コード番号：4985 東証一部)
問 合 せ 先 役員待遇
経営企画部部長 下川善通
(TEL. 03-5207-7456)

株式会社バスクリンの株式等の取得（子会社化）に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 12 月 27 日開催の取締役会において、以下のとおり、WISE PARTNERS 株式会社の運営する WP 1 号投資事業有限責任組合（ファンド）が保有する株式会社バスクリン（以下「バスクリン」といいます。）の株式及び新株予約権（以下「株式等」といいます。）を取得し、子会社化することを決議するとともに、同日株式譲渡契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

1. 株式等の取得の理由

当社は、“ベストクオリティで世界と共生” の基本理念のもと、“安全、安心、快適な生活空間の創造に貢献する” ことを方針に掲げ、独創的かつ高品質な製品を通じてお客様の生活の質の向上に努めてまいりました。お客様の視点に立って開発された製品は当社の基盤となり、国内市場においてトップシェアを誇る家庭用殺虫剤をはじめ、オーラルケア製品や芳香剤などを幅広く手掛けるトイレタリーメーカーとして成長を続けております。入浴剤分野においても、昭和 39 年に『バスロマン』を発売以降、『露天湯めぐり』シリーズ、『温素』、『保湿入浴液ウルモア』など製品ラインナップを拡充し、積極的な取り組みを続けております。

一方、バスクリンは、株式会社ツムラの家庭用品事業であった時期を含めて、『浴剤中将湯』の発売から数えて 114 年、『バスクリン』の発売からは 81 年、日本の入浴文化をリードする企業として事業を運営してきました。『バスクリン』に加えて、『日本の名湯』シリーズ、『きき湯』、『ソフレ』などの入浴剤製品は、非常に高い認知度を誇っています。また、入浴剤に加えて、育毛剤、洗浄剤など、天然素材を活かした家庭用品の開発・製造・販売を一貫して行つてきました。平成 18 年 10 月には株式会社ツムラからツムラライフサイエンス株式会社として分社化され、平成 20 年 8 月には独立系のプライベート・エクイティ投資会社である WISE PARTNERS 株式会社の支援の下、マネジメント・バイアウト（MBO）によりツムラグループから独立しました。MBO の実施以降、バスクリンは、様々なコスト削減を実施するとともに、生薬由来の育毛剤を中心とする通販事業を新たな収益源として育成するなど、着実に成長を続けており、現経営陣の経営手腕を当社は高く評価しています。

バスクリンは“快適な生活空間の創造に貢献する” という当社の方針に合致した会社であり、当社の製品ラインナップの補完による入浴剤カテゴリーの強化に加えて、バスクリンの通販チャネルや平成 23 年 4 月に本格稼働した新工場の生産能力の活用によるシナジーは大きく、さらに、当社の主力製品であり、夏場が本格商戦の家庭用殺虫剤と、冬場に需要が高まるバスクリンの入浴剤の組み合わせにより季節性の変動を緩和することが可能となるなど、当社の企業グループとしての更なる成長に資するものと判断し、バスクリンの株式等を取得し、子会社化することいたしました。

2. 異動する子会社（株式会社バスクリン）の概要

(1) 名 称	株式会社バスクリン		
(2) 所 在 地	東京都港区芝浦四丁目3番4号田町きよたビル4階		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長兼CEO 古賀和則		
(4) 事 業 内 容	入浴剤、育毛剤、家庭用日用品等の製造及び販売		
(5) 資 本 金	453百万円		
(6) 設 立 年 月 日	平成20年7月1日		
(7) 大株主及び持株比率	WP1号投資事業有限責任組合 80.7%		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。	
	人 的 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。	
	取 引 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。	
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
決算期		平成21年3月期 (平成20年7月1日 至平成21年3月31日)	平成22年3月期
純 資 産		1,165百万円	1,222百万円
総 資 産		5,978百万円	6,096百万円
1 株当たり純資産		28,245.57円	29,631.03円
売 上 高		2,425百万円	11,809百万円
営 業 利 益		△405百万円	601百万円
経 常 利 益		△556百万円	471百万円
当 期 純 利 益		△891百万円	56百万円
1 株当たり当期純利益		△26,726.95円	5,656.64円
1 株当たり配当金		一円	一円

注) バスクリンは、平成21年1月1日付で株式譲受目的会社を存続会社として吸収合併を行っており、平成21年3月期の業績は、平成20年7月1日から平成20年12月31日までの6ヶ月間の株式譲受目的会社としての業績と平成21年1月1日から平成21年3月31日までの3ヶ月間の製造販売事業の業績の合算となります。

3. 株式取得の相手先の概要

(1) 名 称	WP 1 号投資事業有限責任組合	
(2) 所 在 地	東京都千代田区	
(3) 設 立 根 拠 等	投資事業有限責任組合	
(4) 組 成 目 的	投資収益を得ること	
(5) 組 成 日	平成 18 年 10 月	
(6) 出資者・出資比率 ・出資者の概要	国内外の機関投資家	
(7) 業務執行組合員の概要	名 称	WISE PARTNERS 株式会社
	所 在 地	東京都千代田区
	代表者 役職・氏名	代表取締役 中野智弘
	事 業 内 容	プライベート・エクイティ投資業
	資 本 金	50 百万円
(8) 上場会社と当該 ファンドとの間の関係	上場会社と 当該ファンド との間の関係	当社並びに当社の関係者及び関係会社から当該ファンドへは直接・間接問わず出資はありません。また、当社並びに当社の関係者及び関係会社と当該ファンドの出資者（原出資者を含む。）との間に特筆すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。
	上場会社と業 務執行組合員 との間の関係	当社と当該ファンドの業務執行組合員との間には、記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。また、当社並びに当社の関係者及び関係会社と当該ファンドの業務執行組合員並びに当該ファンドの業務執行組合員の関係者及び関係会社との間には、特筆すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。

4. 取得株式等の数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数：0個) (所有割合：0%)
(2) 取得株式等の数	普通株式：33,960株 新株予約権：7,000個 (新株予約権を行使した場合の議決権の総数：40,960個) (発行済株式数に対する割合：80.7%。新株予約権の行使による希薄化を考慮した発行済株式総数に対する割合は83.4%) (取得価額の合計：約150億円から株式引渡期日時点の純有利子負債等の金額に応じて調整を加えた価額※)
(3) 異動後の所有株式等の数	普通株式：33,960株 新株予約権：7,000個 (新株予約権を行使した場合の議決権の総数：40,960個) (所有割合：80.7%。新株予約権の行使による希薄化を考慮した所有割合は83.4%)

※ 当社の財務アドバイザーはシティグループ証券株式会社です。

5. 日程

(1) 取締役会決議	平成23年12月27日
(2) 契約締結日	平成23年12月27日
(3) 株式引渡期日	平成24年2月29日（予定）

6. 今後の見通し

当社は、WP1号投資事業有限責任組合以外が保有するバスクリンの株式についても取得することを検討していますが、詳細については今後保有者との間で協議を行う予定です。

株式の引渡期日を平成24年2月29日に予定しているため、平成23年12月期の当社の連結業績に与える影響はございません。また、平成24年12月期以降の当社の連結業績に与える影響につきましては、現在精査中であるため、確定次第お知らせいたします。

（参考）当期連結業績予想（平成23年2月14日公表分）及び前期連結実績

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当期連結業績予想 (平成23年12月期)	106,504	6,372	6,610	3,584
前期連結実績 (平成22年12月期)	103,478	5,821	6,370	3,434

以上